事例No.	2424
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	益田市真砂地区

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・人材確保・育成 ・教育・子育て

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

公民館と学校と地域商社との協働のトライアングルによる地域運営の仕組みづくり

出典

平成26年度優良事例表彰一覧

島根県益田市

総務大臣賞

益田市真砂地区

公民館と学校と地域商社との協働の トライアングルによる地域運営の仕組みづくり



生産者会議＆保育所給食会議：生産者さんと毎週１回集まって何を出荷できるかを話し合う。月1回は保育所の給食の先生も参加する。

事例の概要

　少子高齢化が加速度的に進行する「益田市真砂地区」は、自治会単位でのコミュニティ維持が困難な状況にあると同時に、そこには、地区の未来を担う子どもたちと共に地域づくりに関わろうとする意識が強くあった。

　このような状況の中、公民館が核となって、未来を担う子どもたちとそれを取り巻く学校や保護者と地域の経済力向上を図る地域商社を巻き込んで、協働のトライアングルを形成した。

　そして、多くの地区住民が関わっていける「食育活動」に着目し、地域に元気をもたらすキーポイントとなる「地域づくり（地域課題に取り組む）」・「学びの場づくり（地域を理解する）」・「なりわいづくり（地域雇用の創出）」に取り組み、多様・多世代の住民の地域活動への関わりの中で地域力の向上を生んでいる。



真砂地区のみなさん（関係保育所の園児たちもいっしょに）

評価のポイント

　少子高齢化に歯止めがかからず自治会単位でのコミュニティの維持が困難な状況にあった益田市真砂地区では、公民館を核とした住民参加型の地域運営の仕組みづくりを目指して、①真砂公民館、②地域商社（有）真砂、③真砂小・中学校の３者による協働のトライアングルが形成された。

　通常、「公民館」は市や町が運営する社会教育・生涯学習の場とされているが、真砂地区では少し趣が異なる。それは、地区に最も身近に寄り添いながら、公民館自体が強い意欲と使命感を持って主体的に地域運営に取り組んでいる点である。

　その活動は、食育を施すことにとどまらず、地域の宝である子どもたちの柔軟な発想や感覚を大切にし、取り入れることで、地元食材や開発された地域商品が広く長く住民から愛されるものになるとともに、子どもたちの自主性と強い地域愛を育てる結果に繋がっている。

　また、食育活動、加工品開発・販売、保育所への食材提供などが、真砂地区の生活基盤である農業の生産力の向上に繋がり、各組織が主体性を持って行う、各々にメリットがある食に関する多彩な事業への挑戦は多くの地域住民を巻き込んでいる。そして、問題・課題を共有しつつ、それぞれが深く関わり合いながら行う積極的な地域運営が、真砂地区に大きな好循環をもたらしている。

　人と人との結びつきを強めながら、理想論にとどまらない成果をあげる真砂地区の「実行する地域」としての先進的・発展的な取組は、他の地域に勇気を与えるモデルケースとして高く評価される。



真砂中学校職場体験：地域グループの方の畑や田んぼに入って農業体験。地域生産者の指導のもと、農業の大変さなどを学び貴重な体験になった。



給食食材出荷：真砂の安心安全で旬な野菜を週に２回出荷。保育所からは子どもたちが風邪に強くなった、お通じが良くなったとの嬉しい報告を聞いている。



地域活性化を目的に立ち上げた「地域商社」のこだわりの豆腐。益田市ブランド商品にも認定され、今では多くの家庭に欠かせないものとなっている。

DATA 島根県益田市（ますだし）

団体名●益田市真砂地区
所在地●〒698-0411　島根県益田市波田町イ538－1
　　（益田市真砂地区振興センター）
連絡先●TEL：0856-26-0002　FAX：0856-26-0002
　　E-mail：csc-masago@city.masuda.lg.jp　URL:http://masagoplus.jp/
【交通のご案内】
自動車●1.浜田自動車道浜田ＩＣから、国道9号線で約50分
　　2.中国自動車道戸河内ＩＣから、国道191号線で約90分
鉄　道●JR山陰本線及びJR山口線益田駅
飛行機●萩・石見空港から益田駅までバスで約10分



▶国勢調査人口（単位：人）

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
70,018	59,040	54,622	52,368	50,015

▶人口増減率（単位：%）

H22/S35	H22/S55	H22/H12	H22/H17
-28.6	-15.3	-8.4	-4.5

▶高齢者・若年者比率（H22年）（単位：%）

高齢者比率（65歳以上）	若年者比率（15歳以上30歳未満）
30.9	11.1